

海のまちの復活に向け整備された造船工場 ～志津川旭ヶ浦地区仮設造船場～

【 宮城県南三陸町志津川旭ヶ浦 I 地区 】

名 称 : 志津川旭ヶ浦 I

所 在 地 : 宮城県本吉郡南三陸町志津川字旭ヶ浦10番

種 別 : 仮設工場

延床面積 : 1,469㎡

入 居 者 : 造船業

区 画 数 : 4区画

建物構造 : 鉄骨造1階建て

事業開始 : 平成23年7月12日

完 成 : 平成23年12月12日

供用開始 : 平成23年12月14日

宮城県北東部、リアス式海岸の豊かな景観を有する「南三陸金華山国定公園」のほぼ中心部に位置し、漁業と観光をなりわいとする南三陸町では、震災の津波により魚市場等の漁業関連施設、造船工場、多くの漁船が流失した。

このため、漁業の復活にはまずは漁船の整備から、との想いを持つ志津川地区の造船業4者のため、南三陸町から中小機構に対して、町として最初の仮設施設整備の要望があった。

仮設工場は、船体が25mにも及ぶ造船を可能とする大型の仮設工場として平成23年12月12日に完成し、新造船の製造、多くの漁船の修理のため、稼働している。

